



飯能市議会議員

鳥居のぶあき

山鳩便り

飯能市緑町13-13
電話、FAXとも
042-974-0987

平成23年 12月議会

30号 裏面もあります

ホームページをご覧ください

「鳥居のぶあき」の入力で検索できます

12月定例会 鳥居のぶあきの一般質問から

1) 第4次総合振興計画について

問 4次総振後期基本計画が策定された。前期計画の目標・指針の67%、約7割が消えている

答 基本計画は、前期5年、後期5年で目標値を決めて取り組んでいる。

要望 4次総振終了時に、前期に立てた当初目標値の達成度も検証して欲しい。

問 施策の大綱が前期は32~43ページに掲載されていた。後期は資料編に移され番外の感じ。

答 今回は後期の基本計画を策定したもの。基本構想、施策の大綱は参考として取り扱い後段に掲載した。

問 2015年の市民生活イメージに子育てする若い世代が増えたとある。今迄と5年後の見通しを

答 40歳未満が平成18年度37,311人。22年度34,495人。27年度30,005人と推測

問 今後5年間は、倍のペースで若い世代が減少すること。目標実現に向けた取組方は。

答 基本計画、実施計画を立てて出来るだけ近づけるような考えで施策に取り組んでいく。

問 2015年の市民生活イメージに「帰りに寄り道をしたくなる店も増え」とあるが状況は。

答 店舗数は平成14年830店舗、16年765店舗、19年765店舗であった。

観光客数は平成19年度240.8万人、20年度248.1万人、21年度256.1万人だった。

要望 観光客が増えても、経済効果が伴わないと市の負担が増えるだけ。経済効果増の対策を。

2) 行政改革について

問 都市計画税の無い調整区域で下水道や、街路整備がされ、何十年も都市計画税を収めても道路、下水道未整備の区画整理地区がある。税負担が不公平。公平な税負担を求めるべき。

答 下水道布設は市街化区域が優先だが、調整区域でも必要な場合もある。今後、備える必要がある。

問 平成22年度、一般会計決算で委託料は10%の28.7億円。1%削減で約3千万円の節約を

答 1件1件事業を精査して、削減できるように目指していく。

3) 教育問題について

問 郷土を愛する気持ちを市民が共有でき、連帯感が生まれるような教育が必要では

答 豊かな自然、伝統文化など資料を活用して郷土愛を育てていくことが大切と考える。

問 教育委員会の事務に関する点検評価での評価委員が4,5名。幅広い人材で行う

答 近隣の他市では2~3名程度がほとんどである。飯能市は最も多い人数。増員は考えていない。

要望 事務に関する点検評価は6年間の計画。数値目標は軌道修正等に3年目位に見直しを。

